

せきっ子



3月26日
校長 高野

がんばった、この1年

26日、修了式を行いました。『関っ子』たちの1年間の成長を振り返りました。今年度は、1学期に体育大会を行い、これまでとは違うスタートになりました。

2学期は大きな行事はなく、どこか余裕のあるペースで学校生活が進んでいっていました。しかし、11月18日に火災が起り、「いつも応援してくれる佐賀関のために」「困っている人を助けたい」そんな思いから、児童会を中心に職員や保護者を巻き込んでの募金活動を行いました。アイデアを生かして募金箱を作ったり、インタビューに堂々と答えたりと、いつもと違う一面も見ることができました。

そして3学期。『3学期は次の学年の0学期』と位置づけ、4月からの新学期に向けての準備をさせてきました。代表の子どもたちの話からは、それぞれの頑張りや達成したことの話がありました。また一昨日、6年生が立派な姿で卒業していきました。

明日からは春休みになります。自分の部屋や机の周りなど新年度に向けてきちんと片づけたり、絵の具等の補充をしておいてください。



ありがとう 6年生！

6日に6年生を送る会がありました。6年生が各学年の教室に行き、それぞれの学年の教室で遊びました。1年生とは魚つりや福笑いをして、2、3年生とはNGワードいす取りゲームを、4、5年生ではイントロ当てクイズをしました。どの教室でも工夫を凝らしたおもてなしに、6年生が楽しみながら遊んでくれていました。

体育館に移動し、縦割り班の解散式として、縦割り班でお世話をしてくれた6年生へ、在校生が寄せ書きをした色紙をプレゼントしました。照れながら色紙に目をやる6年生がほほえましく思えました。

その後、遠足に行く予定でしたが、雨が心配だったので校内遠足になりました。グラウンドで時間いっぱい遊び、楽しい遠足になりました。

24日、卒業証書授与式を多くの来賓をお招きして、執り行いました。

卒業生は、やはり緊張した表情でしたが、しっかりと卒業証書を受け取り、別れの言葉や歌声を在校生に残してくれました。在校生もきちんとした態度で式に臨み、贈る言葉や歌声で卒業生への感謝の気持ちを表し、しっかりバトンを受けとったように感じさせられました。

この日までに6年生は、在校生のために愛校作業として、給食の配膳台や階段を掃除してくれたり、卒業制作として、雑巾を縫ってくれたりしてくれました。

7名の卒業生が、佐賀関中学校に巣立っていきました。これからの佐賀関や社会を担う若者の旅立ちを、『幸多かれ！』と願っています。また近所で見かけた時には、是非、声をかけてあげてください。



保護者の方々、そして地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございました。来年度もよろしくお願い致します。